

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network 10 / 1

2017 No.502

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



島根原子力発電所施設見学 ならびに島根県知事表敬訪問報告

平成29年8月4日（金）、平成29年度日本診療放射線技師会幹事会の施設見学として原子力発電所が計画され、本部から中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、小田執行理事、江田理事、野村事務局長が、島根県からは小林理事、山田島根県会長の総勢8人で、島根原子力発電所の施設見学を行った。

福島第一原子力発電所事故を踏まえ、原子力発電所での検問が厳しく、入所には事前提出書類と身分証明書に一字一句間違いがないか確認するため、かなりの時間を要した。原子力発電所敷地内には約3,000人（職員500人、指定業者2,500人）が勤務されており、毎朝、毎夕に検問を受ける車でかなり混雑すると説明された。

島根原子力発電所は原子炉を3基（1号機・2号機・3号機）有している。1号機は廃炉が決定され、平成27年4月に営業運転を終了しており、平成29年7月28日から廃止措置作業に着手している。2号機は、平成25年7月に福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、これまでの規制を強化するとともに自然災害や重大事故対策などを取り入れた新しい規制基準（新規制基準）が策定され、平成26年1月16日より原子力規



制委員会による適合性確認審査が開始され、現在は停止中である。3号機は、営業運転開始に向けて平成18年10月から本工事が実施され、平成23年4月末現在で総工事進捗率93.6%まで本工事が進んでいる。運転状況は3基とも発電は行われていない。

厳しい検問を通過した後、島根原子力発電所内において小川副所長から、安全対策を重点に徹底した設備対策と緊急時対応力の向上を両輪とする安全性の向上に取り組むと説明を受けた。その後はバスで発電所内を回り、免震重要棟、地震・津波への安全対策、冷却機能を喪失しない対策、放射性物質の放出を抑制する対策のそれぞれの設備、意思決定や指揮命令などを行う緊急時対策本部を間近で見学した。建設中の3号機はヘルメットをかぶり、3号機建屋内はほぼ全体の見学をすることができた。福島第一原子力発電所事故時にはなかった、津波による水の浸入・電源喪失を防ぐ設備も確認できた。自然の力は大きく、自然災害から原子力発電所を守ることは住民を守ることであり、新規制基準に適切に対応し、新たな知見も踏まえながら安全性の向上を不断に追求していく姿勢



を見ることができた。

島根県庁知事室では、溝口島根県知事を表敬訪問した。平成25年9月21日の第29回日本診療放射線技師学術大会に



において、三者〔中澤会長、溝口島根県知事、小林会長(当時、島根県会長)〕が『放射線被ばくの防止に関する包括的相互協力協定書』に調印締結している。溝口知事とは、4年間の協力についての対談後、今後のさらなる相互協力を目指すことで一致した。

島根県庁健康福祉部では、吉川部長から『協力協定書』協力事項・2項「医療現場における患者及び医療従事者の被ばく防止対策に関すること」による“患者の被ばく防止対策について”の現状について質問があり、中澤会長が本会資料、①JART医療被ばくガイドライン(低減目標値)②DRLs 2015(医療被ばく研究情報ネットワーク)③被ばく低減認定施設一覧④被ばく低減認定条件のチェック項目一覧⑤レントゲン手帳——を用いて説明した。本会の活動について理解をしていただき、評価を得られたと考える。

第11回 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 公開合同セミナー開催

平成29年8月20日(日)、神奈川県立かながわ労働プラザ(横浜市)において、日本診療放射線技師会(JART)と日本放射線技術学会(JSRT)共同で開催する公開合同セミナーが開催された。今回から本格的に一般市民を対象とした公開講座として、企画・開催したものであり、市民を含め123人の参加があった。

本セミナーは、乳がんをテーマに「乳がんの見つけ方から治療まで」と題し、乳がんの診療に診療放射線技師がどのように関わり、どんな役割を果たしているか、講演を通じて一般市民に理解してもらうことを目的としている。

会場前のロビーでは、東京都診療放射線技師会のスタッフによる、乳がん教育用視触診ファントムを用いた乳がんの自己触診について体験していただく啓発活動を行った。

セミナーの前半は、シンポジウムとして2人の診療放射線技師が講演した。聖マリアンナ医科大学附属研究所B&I先端医療センター附属クリニック 後藤由香技師は「検査だけが仕事ではない! 乳がん早期発見のために診療放射線技師ができること」と題し、診療放射線技師の仕事を紹介するとともに、乳がん検診における診療放射線技師の役割は、質の高いマンモグラフィ検診の提供、検診精度の検証、さらに受診者に正しい知識を提供することであると述べた。そして乳がん検診は、撮影する診療放射線技師と受診者の共同作業であると訴えた。



横浜旭中央総合病院 鬼頭菜穂子技師は「乳がん治療に必要な検査あれこれ」と題し、乳がんの検査から治療までの流れを説明するとともに、多くのモダリティを組み合わせる画像診断を行っていることを説明した。その中で、診療放射線技師は「画像の向こうに患者さまがいることを忘れない」と述べた。

特別講演は「乳がん死亡率を半減させる「命の食事」と題し、ナグモクリニック総院長 南雲吉則先生にご講演いただいた。南雲吉則先生はテレビにも多く出演されている乳がんの専門医であると同時に、独自の健康法の実践により60歳代にはとても見えないアンチエイジングに成功されていることで有名である。会場の聴講者からの「なぐちゃん!」の発声に合わせて、会場後方の扉から聴講者と握手をしながら入場された。その後は、南雲先生の講演に全ての聴講者は引き込

まれ、1時間半を超える講演時間はあっという間であった。内容は、がんが発生する仕組みから、がんと食事の関係についてユーモアを交え、健康につながる日常の食事について、とても分かりやすく話をされた。後半には、南雲先生がずっとライバルと思っていた父親の存在の大きさから、両親や人への感謝について話が及び、「人生の長期目標は日常の中にある。自分の生活を見直し、自分の周囲を改善し、人生を変えていくことで“がん”のない世界をつくろう」と講演を結ばれた。

全ての聴講者にとって、自身の健康のために食生活を見直す絶好の機会となったが、実践できるかどうかはおののちに掛かっている。セミナー終了後、南雲先生のサイン会を兼ねた書籍販売に長い列ができていた。



平成29年度 第1回 超音波実技講習会 開催報告

平成29年8月19日（土）、本会事務所講義室で平成29年度第1回超音波実技講習会「腹部領域」が開催された。

本講習会は「今から始める超音波検査」と題して、超音波検査未経験または再履修したいと考えているミドルシニア・シニア会員を対象に実施された。超音波検査をセカンドキャリアとして活用していただくことを目的に、実技講習を中心に受講者数30人限定（当日25人）、講師5人、実習インストラクター5人、実習用超音波装置5台と、充実した内容で行われた。

「肝」「胆・胆道」「膵・脾臓」「腎・膀胱・婦人科領域」「腹部大動脈・消化管」の5領域について、各30分の基礎講義の後、5班に分かれ午前9分と午後150分の2回の実技講習を行った。実技では、プローブの持ち方や動かし方、対象臓器ごとの基本走査法やコツ、走査上の注意点やピットホールなど、受講者一人一人に講師が丁寧に説明された。未経験者や初心者にとって、超音波検査の習得は座学だけでは難しいため、実技をメインとした本講習会は大変有意義であり、受講者が熱心に受講されていたことが印象的であった。

日本診療放射線技師会の超音波講習会事業は、講習会で得た知識と走査技術を臨床業務に生かしていただくとともに、



将来の就労のためのキャリアアップや超高齢社会を背景とした在宅医療をはじめ、大規模災害における診療放射線技師の関わりを、超音波検査によって実現する期待も込められている。本事業がますます発展し、1人でも多くの会員が超音波検査に携わっていただくことを願う。

最後に、本講習会開催に当たり、講師・実習インストラクターを務めていただきました会員の皆さま、超音波装置を提供いただきました株式会社日立製作所ヘルスケアのスタッフの皆さま、日本診療放射線技師会関係各位に感謝を申し上げます。
(理事 江藤芳浩)



平成29年度 第1回 放射線被ばく相談員講習会開催される

平成29年7月15日(土)・16日(日)の2日間、本会事務所講義室で標記講習会が開催された。中澤会長の講義から始まった本講習会は、医療被ばく相談対応のみならず、災害時被ばく相談への対応もできるようにプログラムが編成されている。

受講者には医療被ばくの相談対応で、最新の知識のみを習得できると思われて参加された方もいた。そのため実技である傾聴訓練を体験され始めた時は「どんなことをするのか不安です」という声も聞かれたが、体験後は改めて実技の必要性を感じたとの感想を聞くことができた。

座学の講義は、受講資格要件である放射線管理士の皆さまにはどのように感じられているのか、また実技の傾聴訓練も含めて講習会アンケートにご協力を頂きながら、次回以降の講習会へ反映をさせていただいている。

平成29年度放射線被ばく相談員講習会は、一部の講義をe-ラーニングへ移行した講習会になった。本年度からの放射線被ばく相談員講習会受講についての詳しいご案内は、会誌などを参考にいただきたい。

放射線を扱う職業人として、医療では検査をする人というだけの枠組みを超え、チーム医療を担う一員であることは自明であり、医療の枠を超えた部分では、放射線を冠とした職業人として国民からの声を聴くこと、放射線問題への対応がますます重要と感じる講習会であった。



結核研究奨励賞候補者の推薦について

公益財団法人結核予防会より、本会へ結核研究奨励賞候補者の推薦依頼がありました。本賞は医療技術関係者の結核に対する関心を高め、結核に関する実践的研究を振興奨励するために設けられております。会員の皆さまの中に該当者がおられましたらご推薦いただきますようお願い致します。

■ 該当職種：診療放射線技師、診療エックス線技師

■ 対象：結核に関する調査研究で優れた内容を持ち、原則として過去3年以内に学会、研究会、雑誌などに発表されたもの。1つの主題について、何年かに分けて発表されたものをまとめたものでもよい。

■ 必要な書類：(1) 履歴書

(2) ・学会または研究会で発表された研究については、発表原稿(または2,000字程度の抄録)とスライド原図、またはそれに相当するもの1部(コピー可)

・雑誌に発表された研究については別刷り1部(コピー可)

(3) 研究内容要約(研究課題名、発表者、所属、学会発表、研究会、雑誌名も含めて400字以内、A4版1枚)

■ 締め切り：平成29年12月15日(金)本会へ必着

第2回 医療画像情報精度管理セミナー 開催報告

平成29年7月15日（土）、フィリップス品川本会議室（東京）において第2回医療画像情報精度管理士セミナーが開催された。第1回は医療画像情報精度管理士のスキルアップを目的としたセミナーであったが、今回は、これから医療画像情報精度管理士の認定資格取得を目指す会員向けの入門セミナーとして開催された。現在、医療画像情報精度管理士は全国で約1,500人が認定されている。認定試験は年2回実施しており、受験者は年間70人前後で最近の合格率は約60～80%となっている。他の認定資格に比べ合格率が低いことから試験対策セミナーの開催を望む声があり、本セミナーが実



現した。会場の規模から募集定員を30人に設定したが、ほぼ同数の申込者であった。セミナーに対するアンケート結果では、90%以上の方が自主的な参加者であり、年代別では30代の参加者が多かった。

参加者アンケートでは「やや満足」以上の結果が多かった。しかし、試験対策だけではなく新卒者向け研修への対応とするには時間が不足し、セミナー講義に含まれなかった内容もあった。セミナー全体の時間を長くするか、新卒者向け研修と試験対策セミナーを別開催にするかは、次年度に向けての検討課題となった。

プログラムは以下の通り。

（医療画像情報精度管理士分科会 小西康彦）

プログラム

1. デジタル画像の特性（画像評価・画像処理）…… 60分
2. 医用画像表示モニタの管理 …………… 60分
3. PACSの構成要素（機器・ネットワーク）……… 60分
4. PACSの運用管理（ガイドライン等）…………… 60分
5. 医療画像情報精度管理士に必要な知識 …………… 30分

画像等手術支援講習会（仙台）開催される！

昨年、平成28年度に、画像等手術支援分科会は将来に向けた認定技師制度として発足した。

昨年は発足間もないことから、JART本部会議室で1回50人程度の規模で計3回、基礎技術講習会を行った。本年度は、受講者の意見調査を基に4～6回を地域開催することとした。第4回は、仙台市の東北大学医学部臨床講堂で開催された。応募者は約180人であったが、豪雨や仙台市内の宿泊施設を確保ができず数人の不参加が見られたものの、160人強の受講者が8時間の講習を無事に終えた。

今回、悪天候の影響により、秋田県から前日入りされた受講者と講師の方は、豪雨のため戻ることができず仙台市内にもう一泊するような非常事態となった。自然災害とはいえ業務への影響などもあり、ご迷惑をお掛けしたのと思われる。また秋田県で水害に遭われた方々へお見舞い申し上げます。講習会全般の評価は、受講者による意見調査で“非常に良かつ



た”“満足できた”という意見を頂き、今後の講習会につなげていきたいと思う。そして認定試験へ良いかたちで挑めるものと確信した。今回は地元技師会の実行委員の方々のお骨折りで、無駄なく円滑に講習会が実施できたことに感謝申し上げます。（画像等手術支援分科会 石風呂 実）

第12回 読影セミナーが開催される

平成29年7月2日(日)午前10時から、昭和大学病院臨床講堂で第12回読影セミナーが開催された。

今回の読影セミナーは、腹部領域を中心とした炎症性疾患をはじめ、脈管疾患・腹部結石・急性腹症のCT撮影や一般撮影時のポイント、画像所見に至る腹部疾患のまとめとなる講義内容に、全国から130人を超える受講生が参加した。

講義は腹部炎症性疾患の病態の概要に始まり、各モダリティでの特徴的所見と画像の閲覧、治療に至る過程を分かりやすく講義していただき、主な炎症性疾患を整理することができた。

また手術やIVRを必要とすることが多い腹部動脈閉塞疾患や胆嚢結石・尿管結石など、腹部領域における多くの症例を閲覧することにより、治療方針を決定する医師視点での講義は診断のポイントとなる箇所がより明確になり、大変興味深く聴講することができた。

急性腹症では、CT装置の性能・造影理論を十分に理解し、迅速な検査を行い、診断や治療に寄与する画像を提供することが必要不可欠である。一方で、1枚の腹部単純撮影から異常所見に注意喚起することも講義され、CT検査などに依存する部分が多くなった現在では忘れかけている部分かもしれない。単純撮影の中にこそ、われわれがプロフェッショナル



としてさまざまな技術の集約と経験値が生かされるので、読影の補助に貢献できるものと改めて痛感した。経験値を増やす意味でも、このような読影セミナーへの参加はとても有効な手段であり、今後にも期待したい。

今回のセミナーで、とても分かりやすく熱心に講師を務めていただいた昭和大学病院の各先生方、同じ診療放射線技師として、その技術や知識を惜しむことなく紹介していただいた先生方に、この場を借りて心より感謝申し上げたい。

今回の読影セミナーに参加した受講生の誰もが、たくさんの知識のお土産を持って帰途に就かれたことと確信している。(文責：読影分科会委員 山川仁憲)

第6回 ピンクリボンアドバイザー認定試験のご案内

INFORMATION

「ピンクリボンアドバイザー」は、乳がん検診や治療について正しいことを知り、自分自身や周りの人の健康に貢献する人の養成を目標に、認定NPO法人乳房健康研究会が認定しています。健康のために知識を身に付けたい人、ピンクリボン運動に興味がある人・関わっている人や、医療現場で患者さんに寄り添う技師を目指す皆さまの勉強に、受験してみたいかかでしょうか。どなたでも受験できますので、周囲の方にもぜひご紹介ください。詳細、お申し込みは<https://breastcare.jp/pinkribbon-a-exam/>をご確認ください。



- 試験日程： 平成29年12月10日(日) 【初級】 10:30~11:30 【中級】 14:00~15:00
- 受験資格： 【初級】 どなたでも受験いただけます 【中級】 初級認定者のみ中級を受験いただけます
- 申込期間： 平成29年3月27日(月)~11月7日(火)
- 開催地： 【初級】 札幌、仙台、大宮、津田沼、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡
【中級】 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- 受験料(税込)： 【初級】 一般3,240円 学生2,160円
【中級】 9,720円(事前講習DVD含む)
- 試験概要： 【初級】 乳がんの基本知識を身に付け、自分自身の健康管理に役立てたり、家族や友人・知人など身近な人に乳がん検診を勧めることができる
【中級】 初級よりも深い知識を身に付け、職場や地域の人々に乳がん検診を勧め、乳がんの正しい知識を伝えることができる。乳がんに関するさまざまな問題を理解し、その解決のために行動することができる



INFORMATION

第1回 **第34回日本診療放射線技師学術大会**
山口への道
 大会長 山内秀一

第34回日本診療放射線技師学術大会開催のお知らせ

2018年9月21日（金）～23日（日・祝）に、第34回日本診療放射線技師学術大会が山口県下関市で開催されます。空路でお越しの際には、山口宇部空港からは高速バスの利用が、北九州空港からは乗り合いタクシーの利用（要予約）が便利です。また新幹線の場合は、新下関駅から在来線に乗り換えて下関駅に向かう経路もありますが、新幹線の「のぞみ」を利用される方は、小倉駅で下車し、在来線で下関駅に向かう方が便利です（小倉駅から10分程度）。

下関市は関門海峡の北岸に面した本州最西端に位置しており、対岸には北九州市の門司港が広がっています。また下関市と北九州市は、関門海橋や関門トンネルでつながっています。学会場の海峡メッセ下関と下関市生涯学習プラザは、JR下関駅から徒歩10分程度の距離にあり、海峡メッセ下関の上層階からは関門海峡を見下ろすことができます。海峡メッセ下関と併設した海峡ゆめタワーの最上階にある展望室からは、瀬戸内海・関門海峡・宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘したことで有名な巖流島・九州連山・響灘（日本海）と、360度の雄大なパノラマを一望することができます。また学会場から車で約5分（徒歩25分程度）の所には、下関水族館（海響館）・カモンワーフ（商業施設）・唐戸市場・赤間神宮などがあり、カモンワーフすぐそばの唐戸栈橋からは、門司港や巖流島に渡る連絡船が出ています。さらにカモンワーフから長府方面に車で10分程度移動すると、火の山公園・みもすそ川公園があります。みもすそ川公園には「関門トンネル人道」の入り口があり、歩いて九州の門司に渡ることができます。みもすそ川公園から車で10分程度の所には、長府の城下町が広がり、長府藩5万石の侍屋敷長屋・功山寺・長府博物館・長府毛利邸・覚苑寺・乃木神社・忌宮神社・長府庭園などを散策することができます。学会終了後、時間があればレンタカーで角島や萩市、美祢市の秋芳洞などへ足を延ばし、温泉「川棚温泉」「湯本温泉」「萩温泉」「湯田温泉」で、ゆったりとくつろぐのもいいと思います。

下関では、捕鯨の文化を今に伝えるクジラ料理、下関名物「ふく」を使った料理、山口県発祥の「瓦そば」など、下関ならではの至福の味を堪能いただけます。なお下関に限らず、山口県は東西に細長い地形で、瀬戸内海や日本海に面していることから、県内どこへ行っても新鮮な海の幸を味わうことができます。

ぜひ山口県で開催される、第34回日本診療放射線技師学術大会にご参加いただき、学術を深めると同時に、山口の味と景色を楽しんでください。

会員の皆さまへ 年会費の納入はお済みでしょうか？

本会の本年度会費納入期限は、9月30日（土）となっております。本会定款により、期限までに会費を納入しない場合には、会員の日常的な権利（会誌の送付、講習会受講などの会員特典）を一時的に停止することになります。いま一度お確かめのうえ、未納の方は、至急お手続きをお願い致します。

INFORMATION

磨けば光る石



古い研修ファイルを整理しているとハッと目に留まる資料がありました。その内容は、

「人は誰もが自分の中に“磨けば光る石”を持って生きています。その石は、自分の中に何個でもあります。その石は、磨き続けていると、時が来れば必ず光ります。ダイヤモンドの原石だって、磨かなければただの石です。自己成長とは、自分が自分の中の“磨けば光る石”を見付け、自分の手で磨き続けていることかもしれません。あなたの“磨けば光る石”が光り始めたら、それはきっとあなたが見たいものになって喜ばれている瞬間なのでしょう」

とありました。

振り返ると、今の自分は石を磨いているのだろうか？ ダイヤモンドがただの石になっていないだろうか？と考え込んでしまいました。

私は、人材(人財)育成が大切で自分の役割と思って仕事をしてきたつもりです。

OJT (on the job training) とは「職場の上司・先輩が部下・後輩に対して、仕事の中で行う日常的な教育トレーニング」のことです。日本語に訳すと「職場内教育」です。

OJTの目的は「役職に応じた仕事ができる人の育成」です。OJTを実施する人に求められているスキルは5つあります。

・仕事観

自分の仕事に対する考え方(仕事観)をしっかりと持っていないければ、何を基準として部下・後輩を指導・育成してよいか分かりません。

・今の仕事の技術力

口頭の指導より、現場でやって見せ続けることが必要です。学ぶの語源は「まねる」です。部下・後輩がまねをしなくなる技術力を見せることが重要です。

・役割

組織として定められたOJTの対象となる人の役割を分かっておくことです。

「あなたは、何のために、具体的に何をすることを期待されているのか」を分かりやすく語ることが必要です。

・コミュニケーションスキル

コミュニケーションとは「お互いの考えや気持ちを分か

り合うこと」です。

OJTの対象となる人の考えや気持ちを分かるための具体的なポイントは、

- その人の知識レベルと技術レベルを分かっておくこと
「どれだけ知っているか？ どれだけ体を使ってできるか？」です。
- その人が今現在困っていることを分かっておくこと
「知らなくてはならないことの何を知らないのか？ できなくてはならないことの何ができないのか？」
- その人自身がこの仕事の中で、今後どう成長したいのかを分かっておくこと

・フィードバックスキル

フィードバックとは「相手の成長のきっかけとなるために、自分に映った相手の姿(相手の行動とその行動の影響)を相手に直接伝えること」です。

この5つのスキルを磨き続けるには、意図的にトレーニングが必要です。

トレーニングには3つの要素があります。

・意識すること

「何のために・誰の・どこに・何をするのか」ということを分かって、後輩が分かるように説明できなければなりません。

・何回も繰り返すこと

繰り返すことで、頭で「分かる」から体で「できる」に変化します。つまり身に付けるということです。時間がかかりますので、諦めないことです。

後輩が諦めそうになったら、信じて励まします。

・負荷をかけること

簡単なことから始めて徐々に難しくします。

この時、人と比較しての「相対評価」ではなく、OJT前の後輩のできなかった時と比較して今はどうであるかの「絶対評価」をすることが後輩のやる気となります。

この3つを意図的に行うことが自分自身を磨くことになり自己成長につながります。

自分自身の中の“磨けば光る石”が輝きを取り戻すよう、これからもトレーニングを続けていくことにしましょう。

(文責：山本英雄)

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

本会の動き

『財務委員会』

財務委員会は、本会におけるお金の管理運営に関する全ての業務を扱っている。

まず「会計」であるが、これはお金や物品の出入りを計算・記録し、支払い・請求を管理する。次に「経理」は、会計帳簿を基に、貸借対照表(B/S)、損益計算書(P/L)、キャッシュフロー計算書(C/S)などの決算書の作成や法人税などの税金の申告を行っている。また給与に関する事務処理も担っている。そして「財務」は、財務諸表・決算書を基に資金調達から今後の資金運用、予算の管理を行っている。これら全ての業務を遂行していることから、他の委員会と異なりその構成委員のほとんどが会計に関する資格を有する事務局員である。実務処理は事務所に常駐する事務局員と決裁権限の責任を担う担当理事、および財務委員で構成され、本会専属の税理士、社会労務士、および監査法人と連携を取り、公益法人会計基準にのっとり、適正な運用を持続できるように努め

ている。

ご周知の通り、公益社団法人の申請・認定において、まず「運営費用の50%以上が公益目的事業に当てられている」ことが問われていることから、会の事業の立案から実施状況や予算遂行をチェックし、会長はじめ執行部、運営委員会、理事会に報告している。

本会の財源は、ほとんどが会員の会費により成り立っている。その会費が無駄なく有効的に活用されていることを管理するのも財務委員会の責務である。

「財務戦略なくして経営戦略なし」といわれている。公益目的事業項目の見直し、事務所の移転、学習支援資金、投資活動収支の有効的利用、諸経費の抜本的削減など、現在、山積する諸問題に運営面から果敢に取り組んでいるのが財務委員会である!!

(文責：小田正記)

10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 業務拡大に伴う統一講習会：

群馬	10月14日(土)～15日(日)	千葉	10月14日(土)～15日(日)
三重	10月14日(土)～15日(日)	兵庫①	10月14日(土)～15日(日)
大分	10月14日(土)～15日(日)	静岡	10月15日(日)・22日(日)
新潟	10月21日(土)～22日(日)	岡山①	10月21日(土)～22日(日)
神奈川	10月28日(土)～29日(日)	福井	10月28日(土)～29日(日)
愛知	10月28日(土)～29日(日)	岡山②	10月28日(土)～29日(日)
沖縄	10月28日(土)～29日(日)	滋賀	11月3日(金・祝)～4日(土)
兵庫②	11月3日(金・祝)・5日(日)	佐賀	11月4日(土)～5日(日)
長野	11月5日(日)・12日(日)	宮城	11月11日(土)～12日(日)
東京	11月11日(土)～12日(日)	高知	11月11日(土)～12日(日)
熊本	11月11日(土)～12日(日)	秋田	11月19日(日)・26日(日)
富山	11月25日(土)～26日(日)	広島	11月25日(土)～26日(日)
福岡	11月25日(土)～26日(日)		
- 基礎技術講習(一般撮影)：東京 10月15日(日)
- 基礎技術講習(X線CT検査)：栃木 10月29日(日)
- 基礎技術講習(MRI検査)：埼玉 11月12日(日)
- 基礎技術講習(画像等手術支援)：岡山 11月12日(日)
- 基礎技術講習(消化管撮影)：新潟 11月25日(土)
- 基礎技術講習(血管造影検査)：千葉 11月26日(日)
- 放射線取扱主任者定期講習：東京 10月20日(金)
- Ai認定講習会：東京 10月28日(土)～29日(日)
- 超音波実技講習会「腹部領域」：東京 10月29日(日)
- 「救急医療学」講習会：東京 11月5日(日)
- 被ばく線量適正化講習会：香川 11月5日(日)
- 骨関節撮影分科会セミナー：北海道 11月12日(日)
- 実践医療被ばく線量評価セミナー：東京 11月12日(日)
- 読影セミナー：大阪 11月19日(日)
- 放射線管理士講習会：東京 11月26日(日)

京都 10月29日(日)

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。